

－ MCFAJ CLUBMAN ROADRACE Rd. 2 富士－

(Text: S.Tomimoto Photo: K.Matsushita)



－ アクシデントで最後尾に落ちるも追いつけた teamOZEKI が 2 連勝－

レースレポート

5月26日(日)に富士スピードウェイでMCFAJ CLUBMAN ROADRACE 第2戦が行われた。サイドカークラス(F1/F2)には合計7台がエントリーした。

予選では開幕戦優勝のNo.7 teamOZEKIが自己ベストを更新しポールポジションを獲得。2番手にはNo.9 Team 赤蜻蛉、3番手にNo.5 レイクス SUWAと開幕戦の順位通りの結果となった。

決勝レースではスタート直後に teamOZEKI が接触され衝撃で安全装置のキルスイッチが働きエンジンが停止、マシンが完全に停止してしまい大きく遅れ、Team 赤蜻蛉はダンロップコーナーで単独スピンを喫し上位2台が先頭争いから脱落。

しかしコースに復帰した2チームは周回ごとにオーバーテイクを重ね、teamOZEKI が3周を残しトップに返り咲きそのまま突き放してチェッカー、開幕戦に続き2連勝を飾った。2位には同じく追いつけた Team 赤蜻蛉、3位に레이크ス SUWA、途中エンジントラブルを抱えスピードが乗らなくなりながら4位にNo.25 ヴァンダレーシングアツギ、チェッカー直前までバトルを繰り広げたNo.6 ヴァンダレーシングアツギと F2 マシンのNo.97 Port Douglas Racing は、No.6 ヴァンダレーシングアツギが競り勝ち、No.26 Team Iwamoto まで全車完走でレースを終えた。F1/F2クラスの次戦は6月16日に岡山国際サーキットで、年に1度の特別枠レースが開催される

